

南体育会館大体育室天井改修その他工事

図面リスト			
図面番号	タイトル	図面番号	タイトル
A-01	表紙・図面リスト	A-16	膜天井 納まり詳細図-1
A-02	特記仕様書 (1)	A-17	膜天井 納まり詳細図-2
A-03	特記仕様書 (2)	A-18	大体育室屋根鉄骨伏図 (既存)
A-04	案内図・工事概要・工事区分・仕上表	A-19	外部仮設計画図 (参考)
A-05	配置図	A-20	1階仮設計画図 (参考)
A-06	1階平面図	A-21	2階仮設計画図 (参考)
A-07	2階平面図		
A-08	2階天井伏図 (改修前)		
A-09	2階天井伏図 (改修後)		
A-10	断面図 (改修前)		
A-11	断面図 (改修後)		
A-12	シャッター改修図		
A-13	大体育室キャットウォーク・送排風機架台詳細図		
A-14	大体育室スピーカー廻り詳細図		
A-15	膜天井 天井伏図・下地鉄骨伏図		

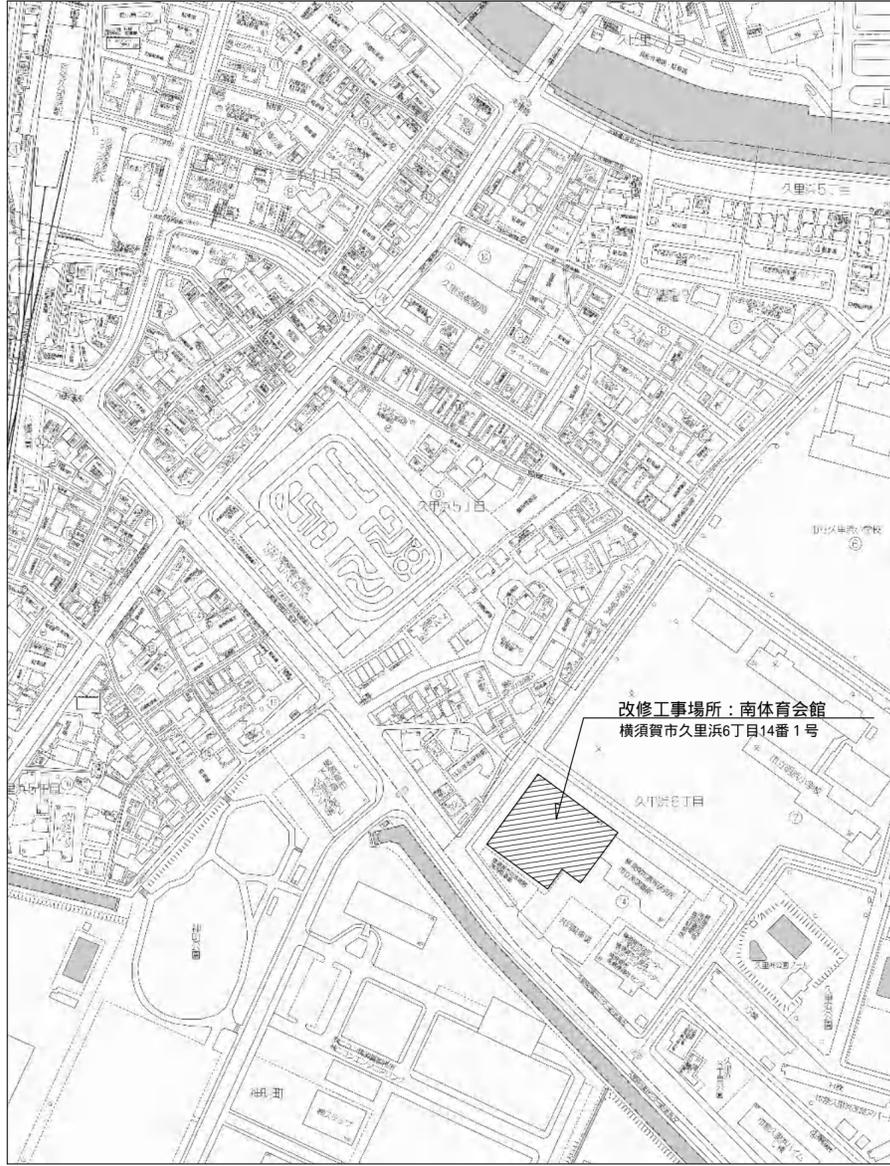
工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格 氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	表紙・図面リスト	図番	A-01	縮尺	NON	作図	令和 4年 4月 日		

特記仕様書		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																	
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>・項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>・項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>・特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は○印の付した事項を採用する。</p> <p>○印と○印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成31年版</p> <p>4. その他事項</p> <p>・各項目欄の番号(例：1.4)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する</p> <p>・各項目欄の番号(例：表 . . . 、及び図 . . .)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする</p> <p>・各項目欄の番号(例：公 章***、公***、公***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する</p> <p>・各項目欄の番号(例：1.*)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする</p>		<p>1章 各章共通事項</p> <p>8.1 完成時の提出図書 完成提出図書： 1.8.2及び1.8.3による ・協議による ・図示</p> <p>8.2 完成図 種類： 表1.8.1 ・一般図 ・実施設計図一式 記入内容： 表1.8.1 ・図示 ・ 提出要領： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3版原因(CAD作図による) ・CADデータ ・ 施工計画書： ○監督員の承諾を受けたもの ・ 施工図： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3縮版第2原図 ・CADデータ ○監督員の承諾を受けたもの ・</p> <p>8.3 保全に関する資料 ・保全に関する資料 提出部数： 各2部 ・部</p> <p>9 現地調査 ○施工図作成に当たっては、現地調査を行い現場各所の寸法を再確認後施工図の作成を行う事</p>	<p>5章 建具改修工事</p> <p>10.2形式及び機構 10.重量シャッター シャッターの種類： ○図示 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ○屋内用防火シャッター ・防煙シャッター ・ 耐風圧性能： ○60 ・80 ・120 ・ 閉鎖機能： ○上部電動式(手動併用)(障害者室) ○上部手動式(談話コーナー) シャッターケース： ○図示 ○設ける(障害者室) ○設けない(談話コーナー) 保護装置の設置： ○図示 ・ 障害物感知装置の設置： ○図示 ・ 危害防止機構の種類： ○自動閉鎖型 ・可動座金式 ・図示</p>																			
		<p>2章 仮設工事</p> <p>1.3 騒音・粉じん等の対策 騒音・粉じん等の対策： ・防音パネル ・防音シート 防音パネル等の設置範囲： ・図示 ・</p> <p>2.1 足場等 内部足場の種別： ○脚立 ○足場板 ・ローリングクワ ○枠組み欄足場 外部足場の設置、種別： ○設置しない ・設置する【・枠組足場 ・単管足場 ・】 保護シートの設置： ○設置する ・設置しない 材料等の運搬方法： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種</p> <p>3.1 既存部分の養生 既存部分養生材料： ○ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する 既存家具養生材料： ・ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する 既存ブラインド、カーテンの養生方法： ・指定場所に保管し再設置 ・指定場所に保管し清掃の上再設置 ・</p> <p>3.2 仮設間仕切り 仮設間仕切り： ・無し ・有り 設置箇所： ・図示 ・ 種 別： ・A種 ・B種 ・C種 仮設扉： ・不要 ・必要【設置箇所： ・図示 ・任意の場所 ・】 仮設扉の種別： ・鋼製 ・木製 ・図示 ・</p> <p>4.1 監督職員事務所等 監督職員事務所の設置： ・必要 ○不要 監督職員事務所の規模、設備、備品等 ・()号(会議室()m²を含む) ・()号に会議室()m²を加えた規模 ・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他； 受注者事務所の設置： ・必要 ・不要 受注者事務所の規模、設備、備品等 ・()号(会議室()m²を含む) ・()号に会議室()m²を加えた規模 ・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他； 構内既存の用水施設： ・利用できない○利用できる(・有償・無償○施設管理者と協議) 構内既存の電力施設： ・利用できない・利用できる(・有償・無償・施設管理者と協議) ○動力以外利用できる(・有償・無償・施設管理と協議)</p>	<p>6章 内装改修工事</p> <p>1.3 他の部位との取合い等 1.4 工 法 6.2 材 料 6.3 形式及び寸法 6.4 工 法</p> <p>1.共通事項 既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲： 壁厚程度 ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲： 両側600mm程度 ・図示 天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲： 既存のまま ○図示 既存部分の撤去工法： ○適用する【・標準仕様書6.2 ・標準仕様書6.3 ○標準仕様書6.4】 ・図示 新設下地の工法： ○適用する【・標準仕様書6.5 ○標準仕様書6.6 ・標準仕様書6.7】 ○図示 仕上げの工法： 該当項の有無により適用する ・図示</p> <p>6.軽量鉄骨天井下地 種類： 表6.6.1による ○屋内19形 屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔： ○φ900mm ・ 屋外の野縁の間隔： 表6.6.2による ・ 既存埋込インサートの使用： ・使用する ○使用しない あと施工アンカーの引抜き試験： ・行わない ・行う 試験法： ・標準仕様書6.6.4(1)(9)による ・図示 ・ 屋外の引抜き試験の箇所： ・図示 ・屋内と同等程度 ・ 切断された天井下地の補強方法： ・図示 屋外の軒天井、ピロティータ井の補強： ・図示 ・ ・天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。 ・吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。</p>																			
章 項目	特記事項																					
1章 各章共通事項	<p>1.4 工事実績情報登録 (CORINS)への登録： ○行う ・行わない</p> <p>1.* 建築基準法の風圧 基準風速： ・V₀ = 3.6 (m/s) 平成12年建告第1454号第2 積雪に関する規定 地表面粗度区分： ・ ・ ・ ・ 積雪区分： ・区域=(32) / =0.0009 / =0.00 / =0.21 / R=0 平成12年建告第1445号 別表</p> <p>3.3 電気保安技術者 技術者の配置： ・配置する ・配置しない</p> <p>3.5 施工条件 施工順序等の制約： ○無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・】 工事車両の駐車場所： ・図示 ・現場説明書による ○敷地内 資材、機材置場： ・図示 ・現場説明書による ○敷地内 発生土仮置場： ・図示 ・現場説明書による ・ その他の施工条件： ・図示 ・現場説明書による ○施設管理者との協議による</p> <p>3.12 発生材の処理等 ○現場説明書による。</p> <p>4* 使用材料 ○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてFとする。但し使用予定材料にFが存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。</p> <p>5.2施工数量調査 調査範囲： ・図示 ・ 調査方法： ・非破壊検査 ・破壊検査 ・</p> <p>5.3調査のための 補修方法： ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する ・図示 ・</p> <p>6.5 施工の検査等 見本施工の実施： ・実施しない ・実施する【実施箇所等： ・図示 ・】</p> <p>6.9 化学物質の濃度測定 濃度測定： ・未実施 ・実施 化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。 測定対象物質： ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・図示 ・ 測定方法： ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ； 測定対象室： ・図示 ・ 測定箇所数： ・図示 ・箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。</p>	<p>3章 防水改修工事</p> <p>7.2 材 料 7.3 目地寸法 7.8 シーリング材の試験 7.* 保証年限</p> <p>7.シーリング 種類及び施工箇所： ・種類は表3.7.1により施工箇所は下表による ・ ノンブリードタイプシーリング材の適用： 使用する ・使用しない 施工箇所： ・ボリルカ系シーリングで仕上げありの部位</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> <th>目地寸法(mm)</th> <th>保証年限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シャッター廻り</td> <td>MS-2変成シリコン</td> <td>15(W)x10(D)</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>年</td> </tr> </tbody> </table> <p>簡易接着性試験 ・引張接着性試験 シーリング保証書： ・提出する ・提出しない ・保証書(請負人、材料製造所、シーリング 施工者連帯保証)は各3部提出すること。</p>	施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限	・シャッター廻り	MS-2変成シリコン	15(W)x10(D)	3年				年				年				年
施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限																			
・シャッター廻り	MS-2変成シリコン	15(W)x10(D)	3年																			
			年																			
			年																			
			年																			

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	特記仕様書(1)	図番	A-02	縮尺	NON	作図	令和4年4月 日				

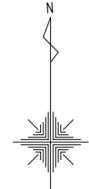
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	部位	メーカー・品名・品種・品番	備考		
7章 塗装改修工事	① 材料	1. 共通事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ○無 ・有（	10章 膜天井改修工事	① 1 膜工事	1. 膜の材料 ○塩化ビニル樹脂系被覆ガラス繊維クロス（厚さ0.47mm） 不燃認定品（建築基準法第2条第九号）NM-4223-1 一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること。 一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場（A種を除く膜材料を加工する工場）で加工すること。	参考 メーカー 等 リ ス ト	膜材料	太陽工業株式会社 VVERYFINE Aw同等以上			
		2. 下地調整					① 2 下地金物工事	1. 膜天井用下地鉄骨種類・材質 ○一般構造用鋼材 SS400 2. 鉄骨・金物塗装仕様 ○溶融亜鉛めっき仕上げ 3. 膜定着金物 ○アルミ押し出し材（材質：6N01-T5）アルマイトクリア塗装			
	② 2-2.7 ***下地調整	塗装面の種類		種別	① 3 その他		○天井膜材 VVERYFINE Aw（不燃膜材）同等品以上。 ○ISO 9001を導入している企業とすること。 ○膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。 ○躯体取合部は打ち合わせの上、決定すること。				
		木部（不透明塗料塗り部）		RA種 ・RB種 ・RC種							
		木部（透明系塗料塗り部）		・RA種 RB種 ・RC種							
		鉄鋼面		○RA種 ○RB種 ・RC種							
		亜鉛メッキ鋼面		・RA種 ○RB種 ○RC種							
		モルタル、プaster		・RA種 RB種 ・RC種							
	③ 2 塗料種別	3. 錆止め塗料塗り		鉄鋼面： ○A種 ・B種							
				鉄鋼面(上塗りEP-Gの場合)： ・A種 ○B種							
亜鉛めっき鋼面： A種 ・B種 ・C種											
亜鉛めっき鋼面(上塗りEP-Gの場合)： ・A種 ・B種 ○C種											
③ 3 錆止め塗料塗り	鉄鋼面見え掛かり部分新規塗り工法： A種 ○B種 ・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法： ・A種 ○B種 ・C種 鉄鋼面塗替え部分工法： ・A種 ・B種 ○C種										
④ 2-9.5 ***塗料塗り	9. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G） コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ○B種 ・C種 プaster面の種別： ・A種 B種 ・C種 せっこうボード、及びその他のボード面の種別： ・A種 B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め： ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 ・ 屋内木部の種別（新規）： A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（多孔質広葉樹）： ・A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（塗替え）： ・A種 B種 ・C種 屋内鉄鋼面の種別： ・A種 ○B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ○B種 ・C種										
⑩ 2 ***塗料塗り	10. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP） 種別： ・A種 ○B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め： ・標準仕様書7.13.2(b)による ・図示 ・										

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	特記仕様書(2)	図番	A-03	縮尺	NON	作図	令和 4年 4月 日				



改修工事場所：南体育会館
横須賀市久里浜6丁目14番1号

案内図 S = 1 : 3000



工事概要

- 大体育室特定天井改修工事に伴う建築工事
 - ・特定天井改修（既存全面撤去後、新規不燃膜天井+スティールメッシュ天井）
 - ・天井内キャットウォーク、送排風機架台新設
 - ・既存手動式吊物機構（バトン）撤去
 - ・シャッター取替（3か所）
- 機械設備工事（別途工事）
 - ・既設の排気ファン更新
 - ・ダクト・排気口類の新設
 - ・スプリンクラーヘッド及び枝管の取り替え
- 電気設備工事（別途工事）

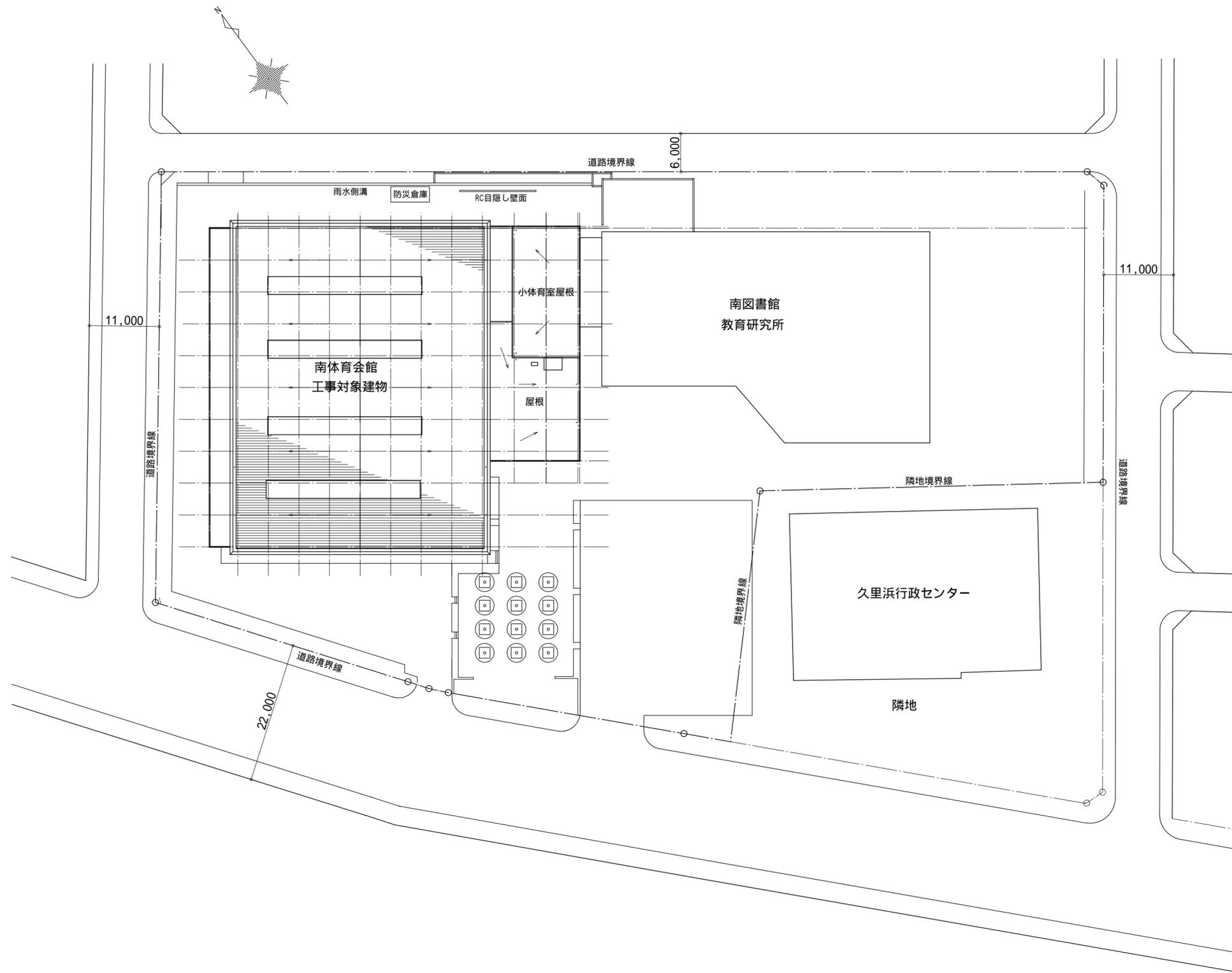
工事区分

No	工事内容	建築	電気 (別途工事)	機械 (別途工事)	備考
1	仮設足場（脚立を除く）	○			
2	発生材運搬・処分	○	○	○	
3	点検口（天井）取付及び開口補強	○			
4	天井付各種設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○			
5	天井付各種設備器具取付		○	○	
6	設備機器用設置架台	○		○	
7	換気機器の電源及び制御配線工事		○		
8	同上 制御スイッチの取付及び本体取付工事			○	
9	機器・材料等揚重用金物（フック等）	○			
10	シャッターの火災報知器配線工事		○		

仕上表

室名	部位	既存	改修
1階 大体育室	天井	石膏ボードt9下地の上岩綿吸音板 t15EP塗り全面撤去 【LGS吊材・天井点検口・照明ボックス・スピーカーボックス共撤去】	【改修】不燃膜天井及びスピーカ設置部分をスティールメッシュ天井に改修 【新設】天井点検口 600角 2か所
	壁	難燃合板 t15+t5.5 CL(腰壁) コンクリート打放しの上内装用吹付タイル（ゆず肌仕上）	既存のまま 既存のまま
	巾木	木製 CL	既存のまま
	床	鋼製床組下地 耐水合板 t=15の上 アサダサクラ t=18 ポリウレタン塗装	既存のまま
	備考	吊物機構（バトン装置）	【既存手動式一式撤去】 【新設】天井内キャットウォーク新設（W600） 排風機架台新設
1階 障害者室	天井	石膏ボードt9下地の上岩綿吸音板 t12全面撤去 【LGS吊材・天井点検口共撤去】	【改修】石膏ボードt9.5下地の上岩綿吸音板 t12（LGS下地）全面改修 【新設】天井点検口 600角 2か所
	壁	ケイ酸カルシウム板 t6面取突付VP塗り（LGS下地）	既存のまま
	巾木	ソフトビニール巾木	既存のまま
	床	コンクリート金ゴテ押えの上発泡長尺塩ビシート t3.5	既存のまま
	備考	防火シャッター	【改修】防火シャッター一式取替え
1階 その他	天井		【新設】事務室前ロビー、電気室前天井点検口 600角 2か所 【新設】放送室、前室、役員室、事務室天井点検口 450角 4か所
	天井	石膏ボードt9下地の上リブ型岩綿吸音板 t15EP吹付け（LGS下地）一部撤去 【LGS吊材・天井点検口共撤去】	【改修】防火シャッター撤去に伴う天井改修 石膏ボードt9.5下地の上岩綿吸音板 t12（LGS下地）一部改修 【新設】天井点検口 600角 4か所
2階 談話コーナー	壁	コンクリート打放しの上内装用吹付タイル（ゆず肌仕上）	既存のまま
	巾木	ソフトビニール巾木	既存のまま
	床	コンクリート金ゴテ押えの上発泡長尺塩ビシート t3.5	既存のまま
	備考	防火戸+防火シャッター	【改修】防火戸+枠（塗り替え） シャッター・巻取り（取替え）
			【シャッター・巻取り撤去】

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	案内図・工事概要・工事区分・仕上表	図番	A-04	縮尺	1:3000(A2)	作図	令和4年4月	日	



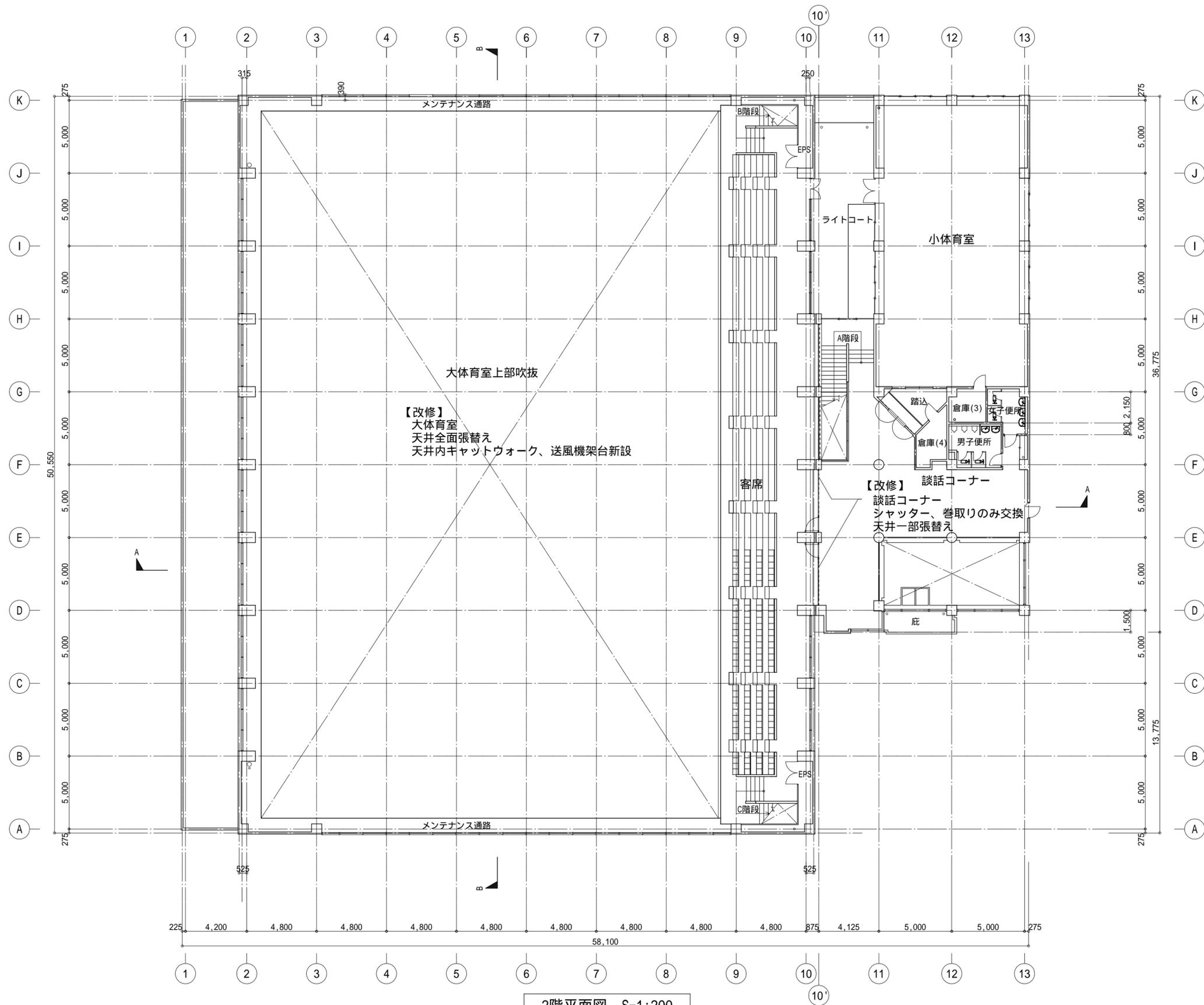
配置図 S=1:500

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格 氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	配置図	図番	A-05	縮尺	1:500(A2)	作図	令和 4年 4月 日				



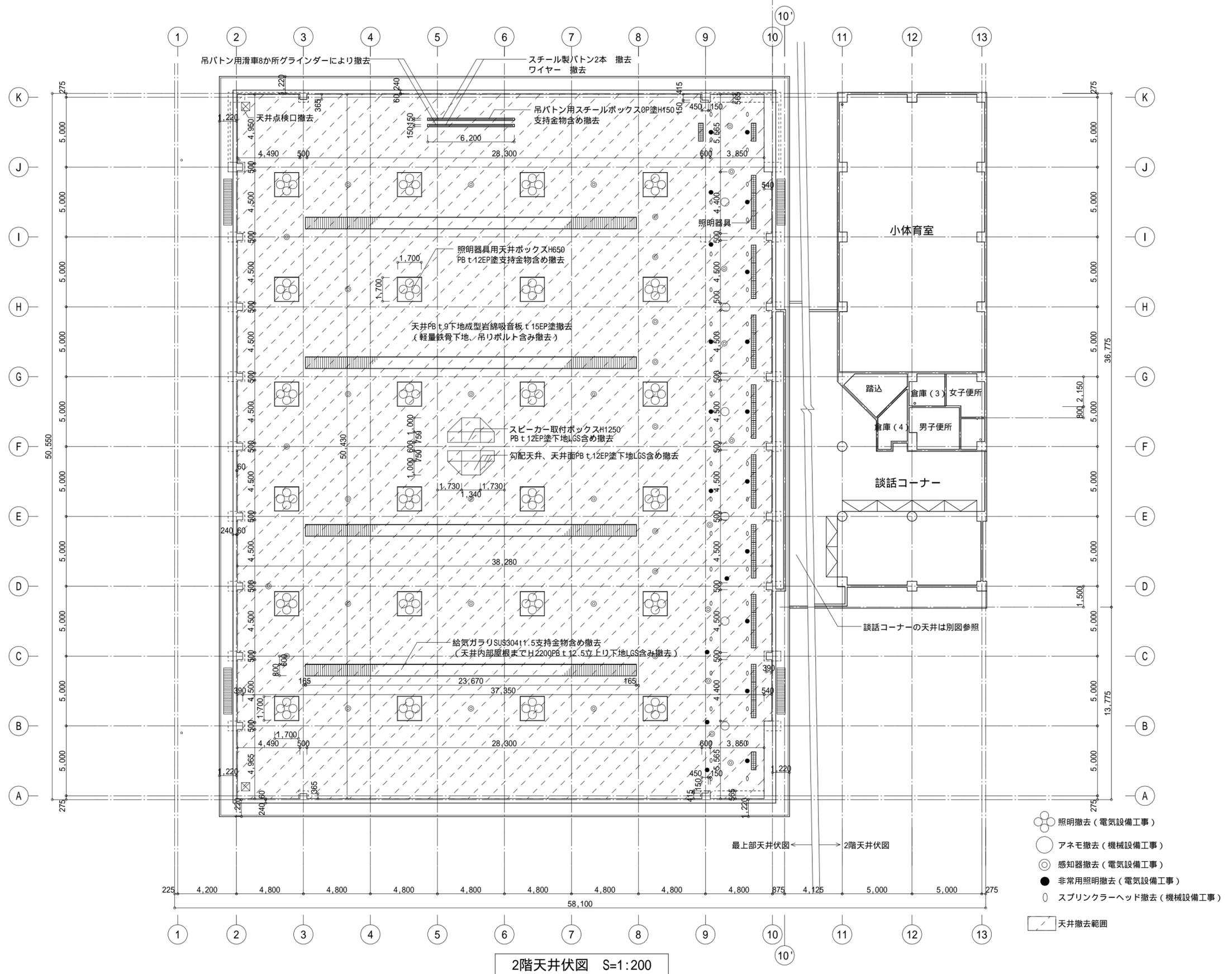
1階平面図 S=1:200

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	1階平面図	図番	A-06	縮尺	1:200(A2)	作図	令和4年4月	日			



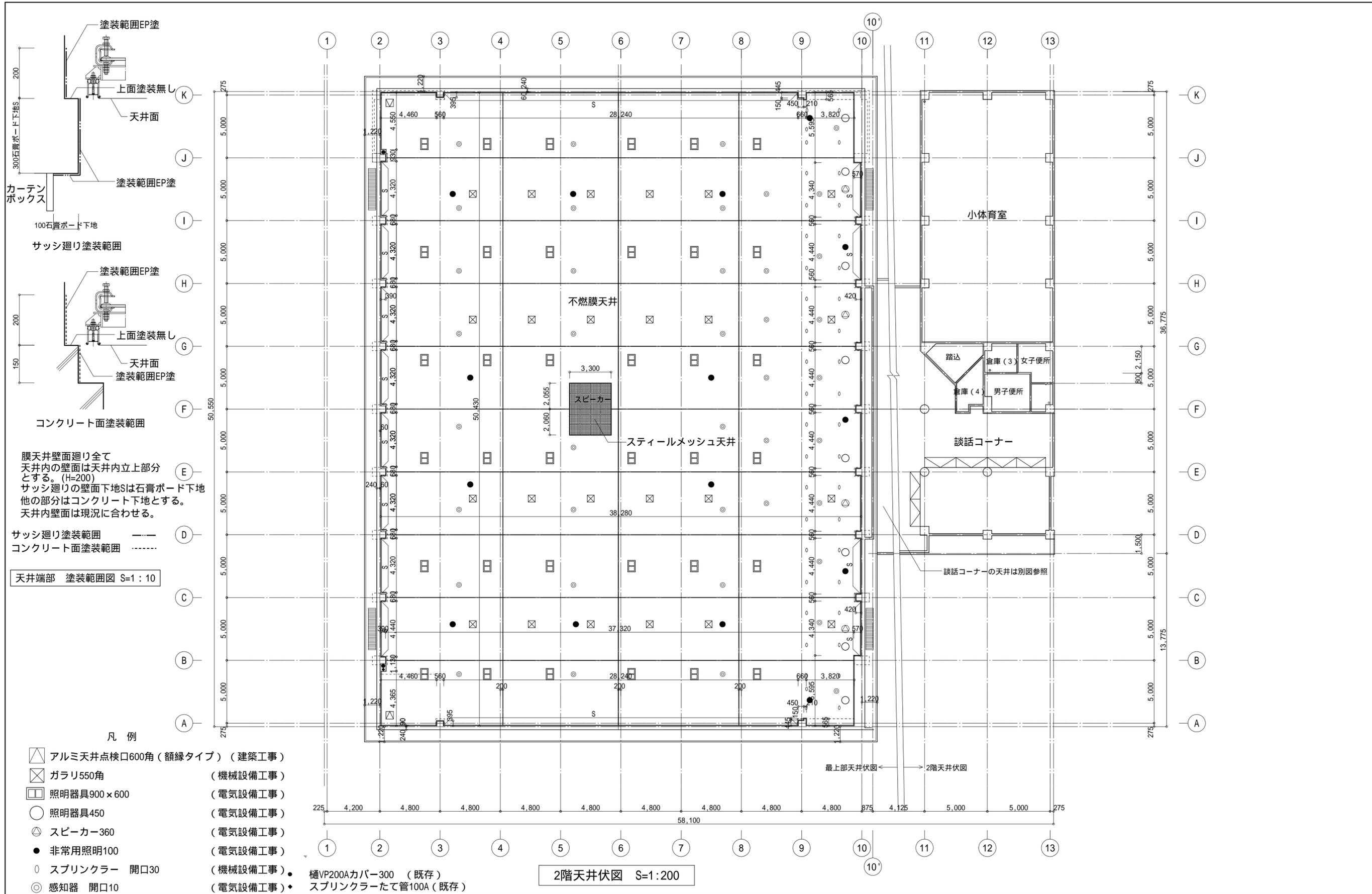
2階平面図 S=1:200

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	2階平面図	図番	A-07	縮尺	1:200(A2)	作図	令和4年4月	日	

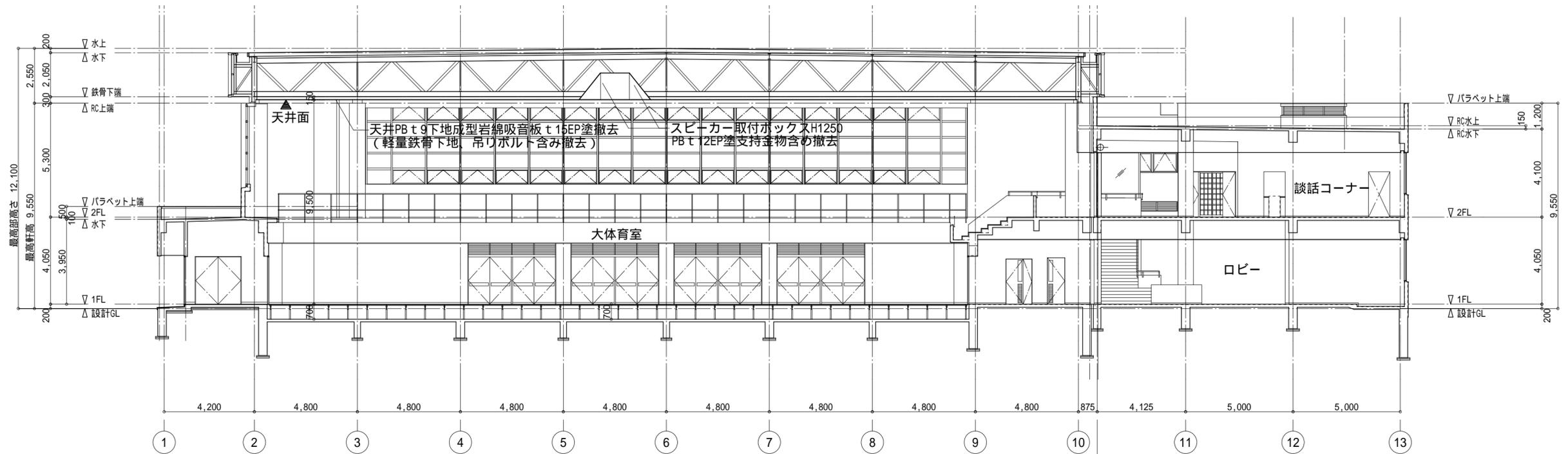


2階天井伏図 S=1:200

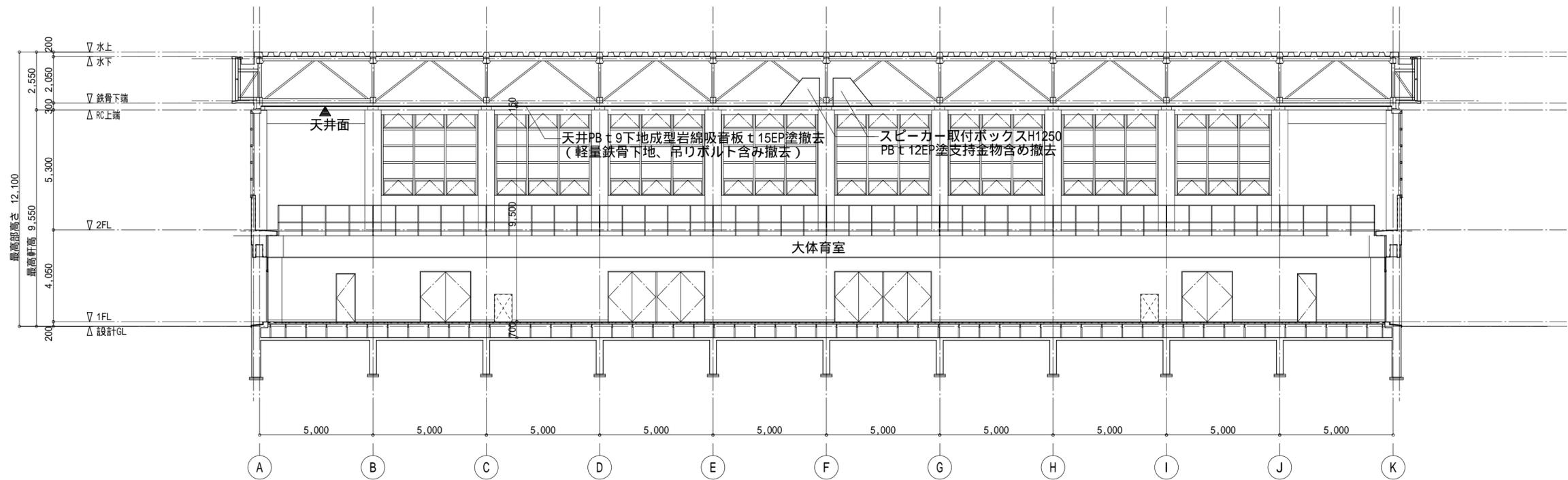
工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	2階天井伏図 (改修前)	図番	A-08	縮尺	1:200(A2)	作図	令和 4年 4月 日		



工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	2階天井伏図 (改修後)	図番	A-09	縮尺	1:200(A2)	作図	令和4年4月 日				

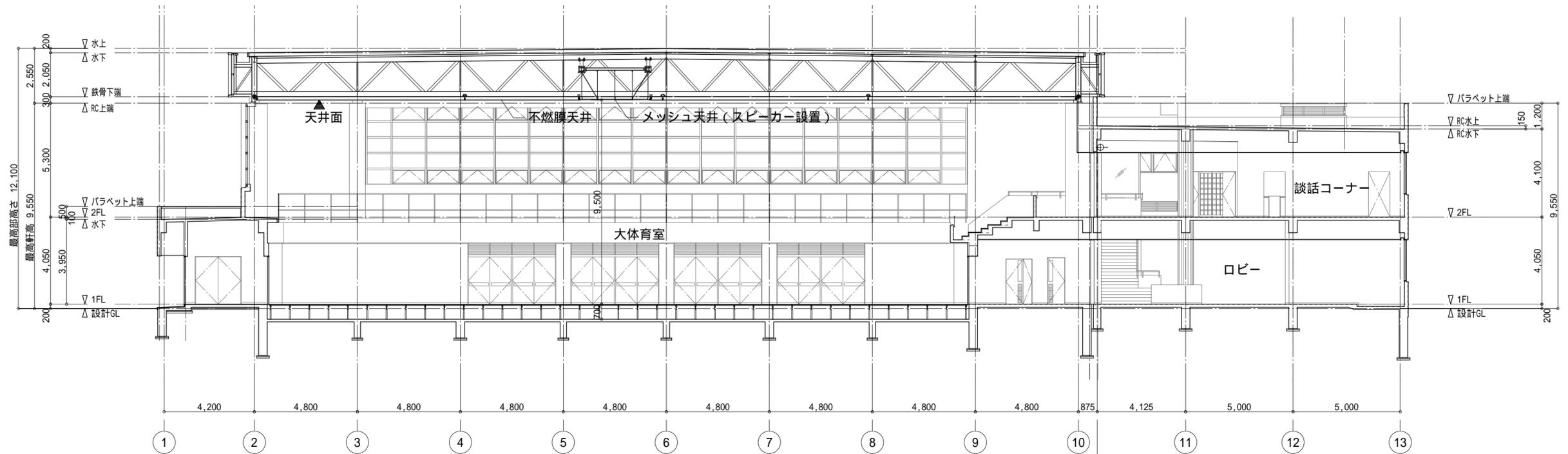


A-A断面図 S=1:150

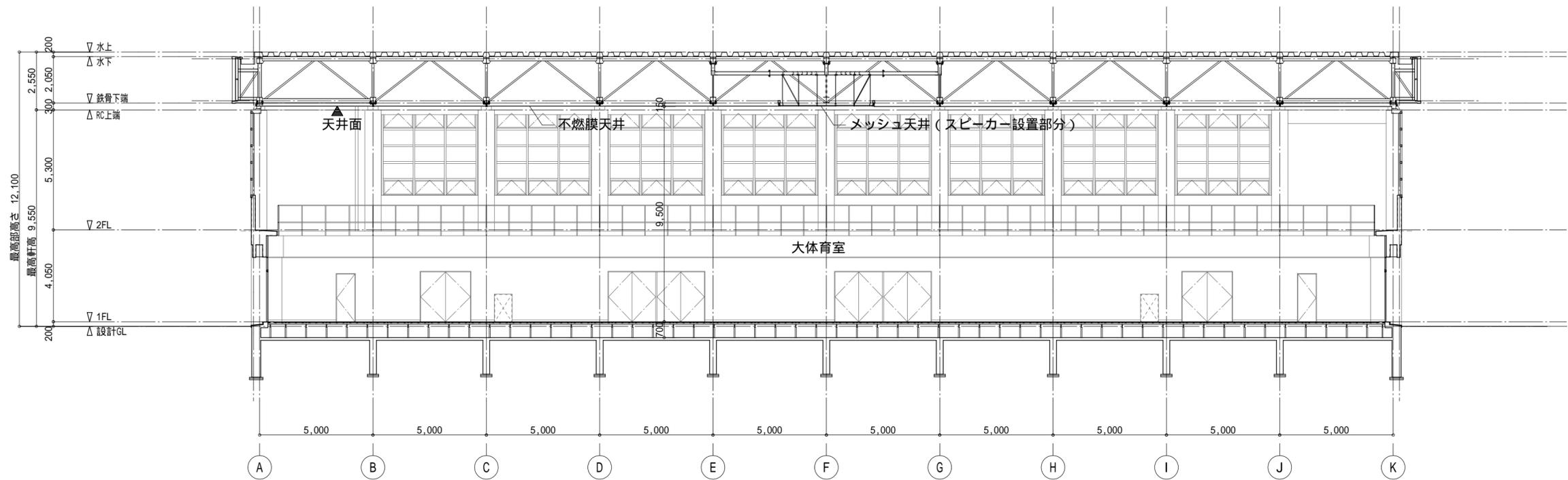


B-B断面図 S=1:150

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格 氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	断面図 (改修前)	図番	A-10	縮尺	1:150(A2)	作図	令和4年4月	日	



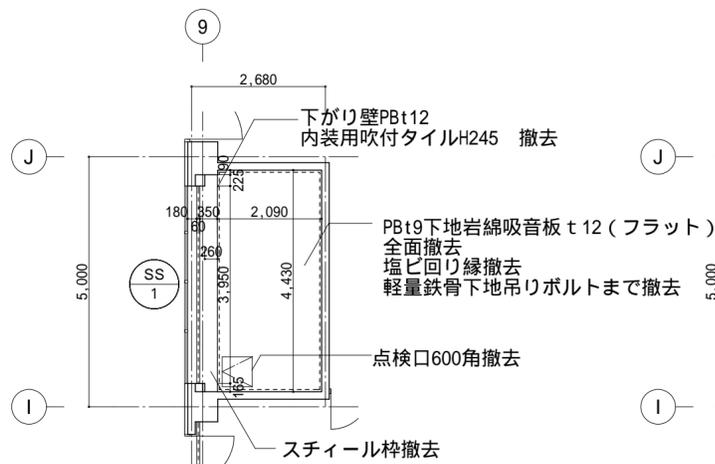
A-A断面図 S=1:150



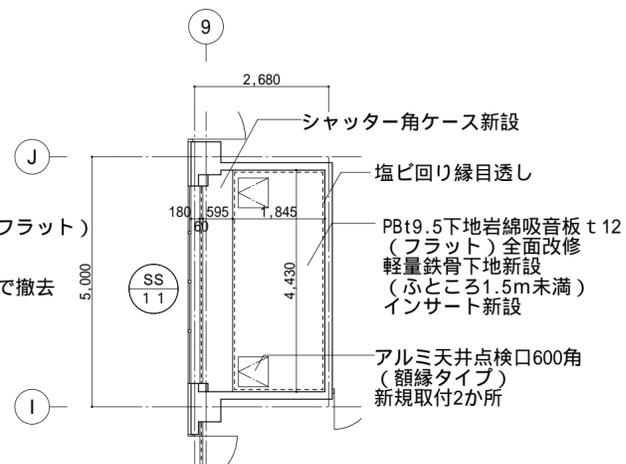
B-B断面図 S=1:150

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格 氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	断面図 (改修後)	図番	A-11	縮尺	1:150(A2)	作図	令和 4年 4月 日		

記号×数量	SS1 × 1ヶ所	SS1 × 1ヶ所	SS2 × 2ヶ所
室名	1階障害者室 防火シャッター撤去 特定防火設備	1階障害者室 防火シャッター一式交換 特定防火設備	2階談話コーナー シャッター、巻取りのみ交換 特定防火設備
姿図			
型式	重量手動式シャッター	重量電動式防火スモールヘッドシャッター(角ケース納まり)	鋼製片開きくくり戸付フラッシュ扉+重量手動式防火シャッター(防火戸+防火シャッター)
見込	60	60	85 扉:50,40(くくり戸) 120
材料	既存(亜鉛メッキ鋼板)	スラット:亜鉛メッキ鋼板t1.6 F6型スラット 枠:亜鉛メッキ鋼板t2.3	既存(亜鉛メッキ鋼板) スラット:亜鉛メッキ鋼板t1.6 G1型スラット
仕上		新設部分:現場E-P-G塗装(工程B種 工場:下地調整R-C種+錆止めC種工程A種) 既存:現場E-P-G塗装(工程B種 下地調整R-B種+錆止めC種工程C種)	現場E-P-G塗装(工程B種 下地調整R-B種+錆止めC種工程C種)(亜鉛メッキ鋼板) 現場E-P-G塗装(工程B種 下地調整R-B種)(戸袋内コンクリート面) 既存:現場E-P-G塗装(工程B種 下地調整R-B種+錆止めC種工程C種)
錠前			既存のまま
附属金物		レール(カバー工法)、座金、マグサ:ステンレスHLL仕上 危害防止機構、付属金物一式	(既存) ケースハンドル、フロアヒンジ、付属金物一式 (新設) 座金・マグサ:ステンレスHLL仕上、 危害防止機構、付属金物一式 (既存) レール
備考	煙感知器連動	煙感知器連動、既存シャッター撤去後設置	煙感知器連動、既存扉再塗装 煙感知器連動、既存シャッター撤去後設置

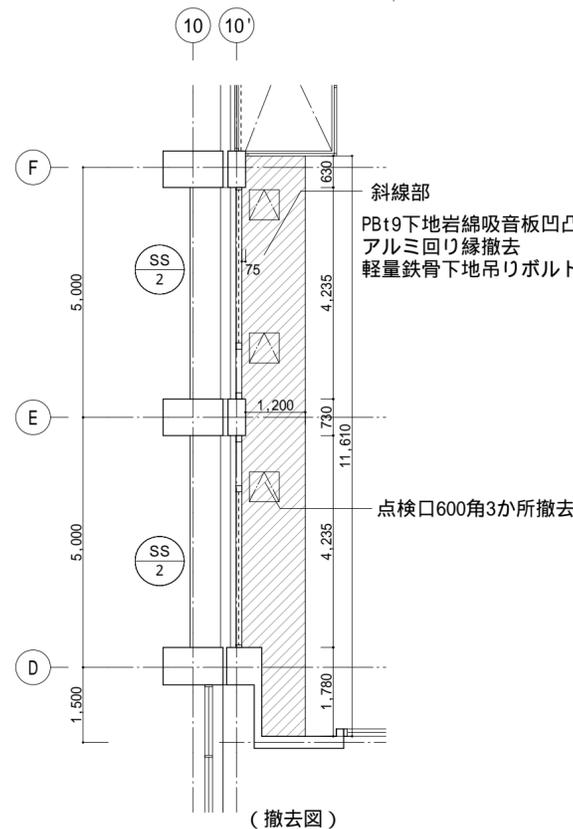


照明器具2か所、非常用照明1か所撤去
感知器2か所撤去(電気工事)
SPヘッド2か所(枝管込)、換気扇1か所撤去(機械工事)

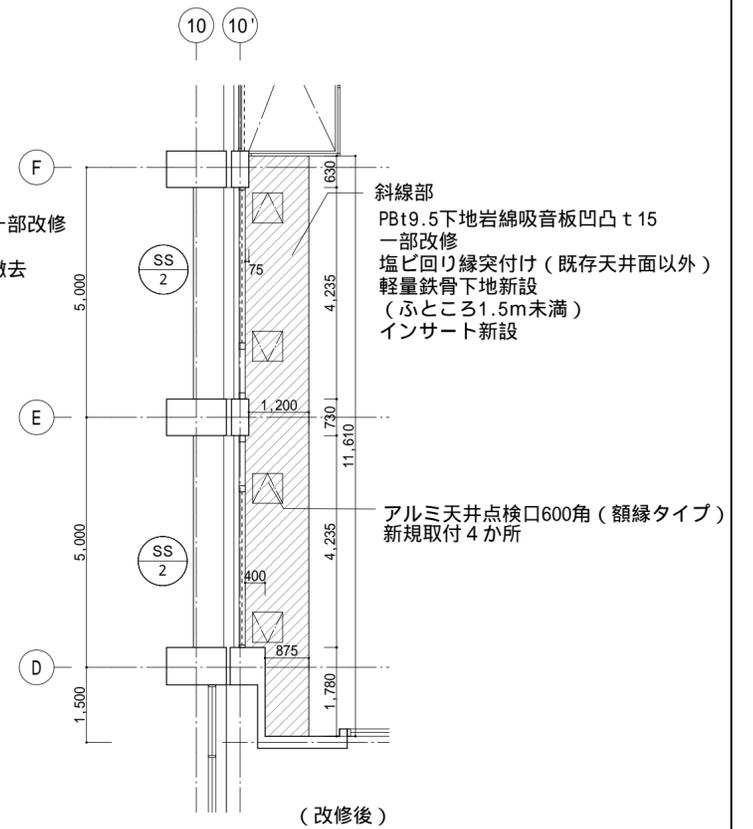


照明器具2か所、非常用照明1か所、感知器2か所交換(電気工事)
SPヘッド2か所(枝管込)、換気扇1か所交換(機械工事)

1階障害者室天井伏図 S=1:100



照明器具6か所撤去(電気工事)
SPヘッド4か所撤去(機械工事)



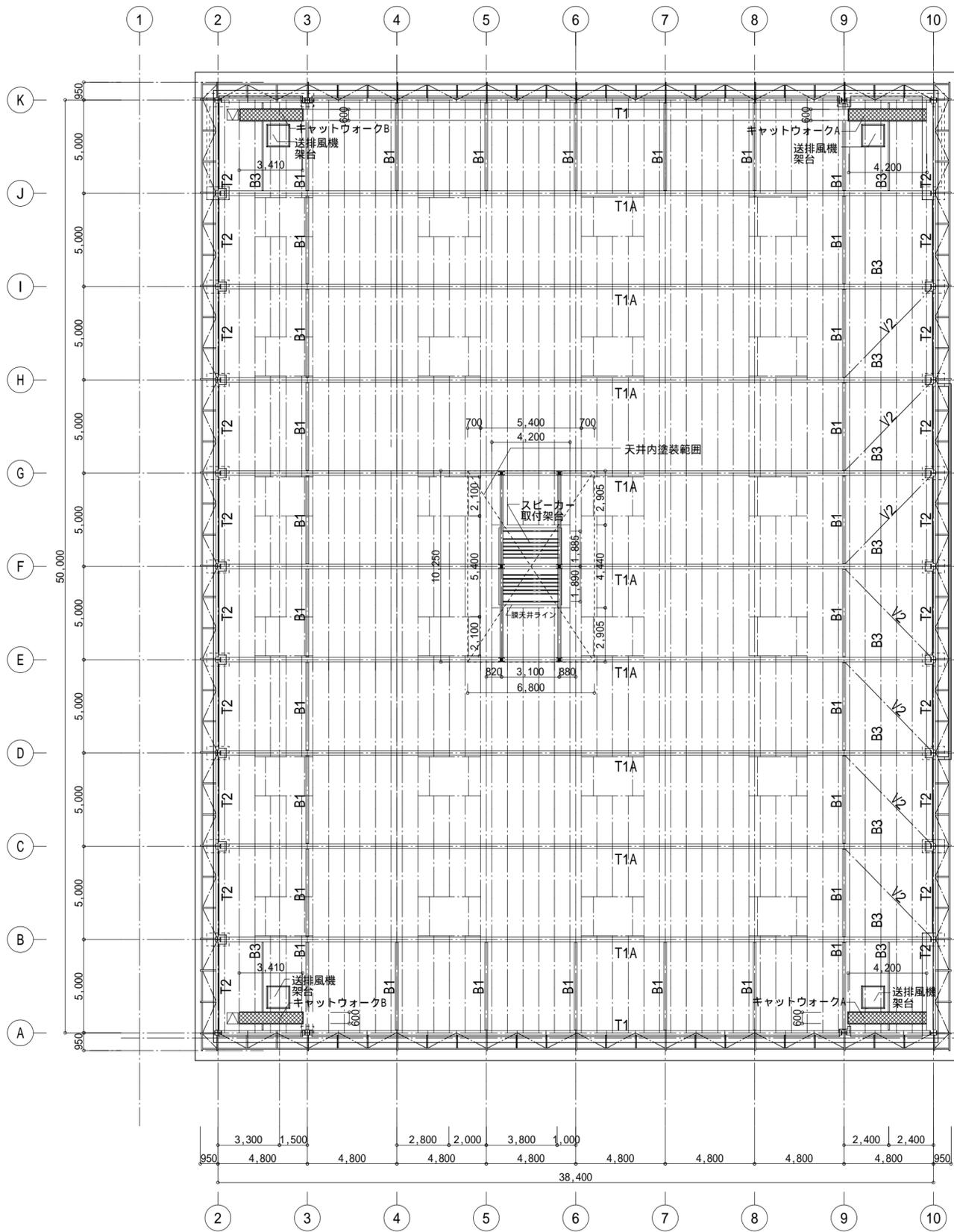
照明器具6か所交換(電気工事)
SPヘッド4か所交換(機械工事)

2階談話コーナー
シャッター廻り天井伏図 S=1:100

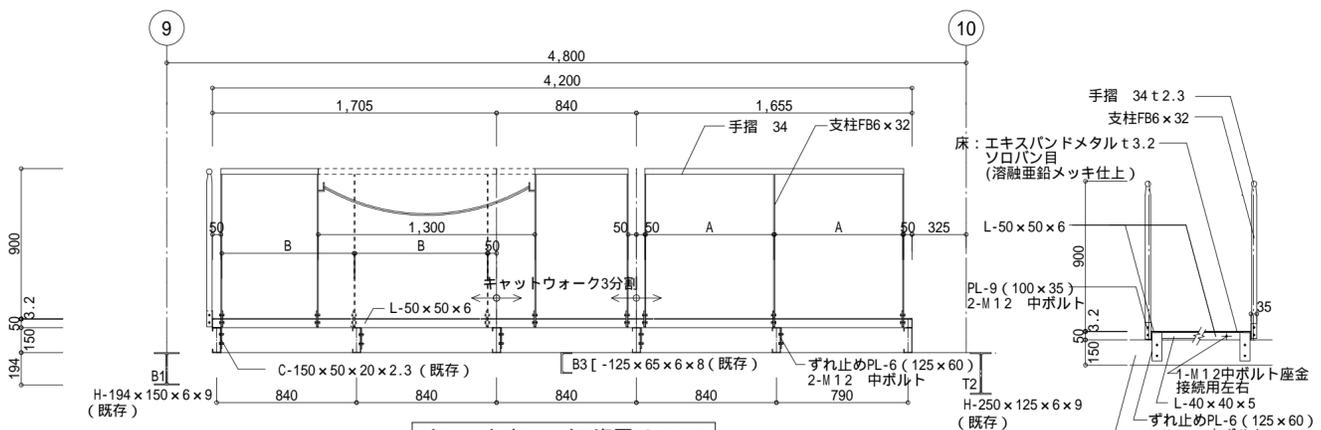
工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	シャッター改修図	図番	A-12	縮尺	1:50, 1:100(A2)	作図	令和4年4月				

最終消す 既存C-150×50×20×2.3 総長さ 2495.89m

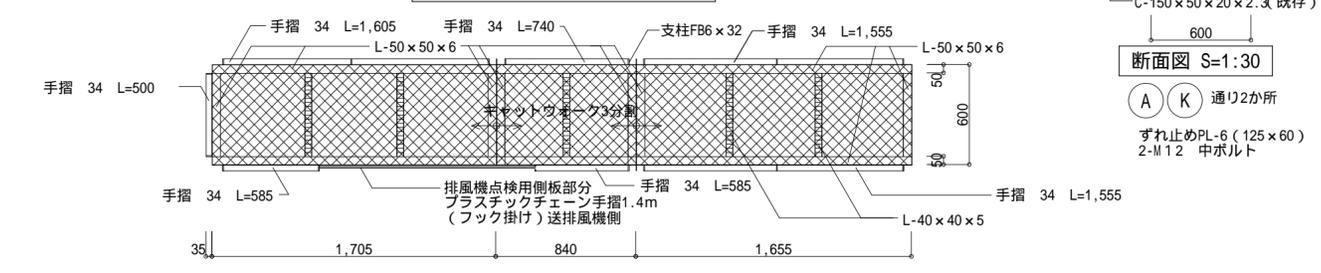
下弦を示す。



大体育室屋根鉄骨伏図 S=1:200

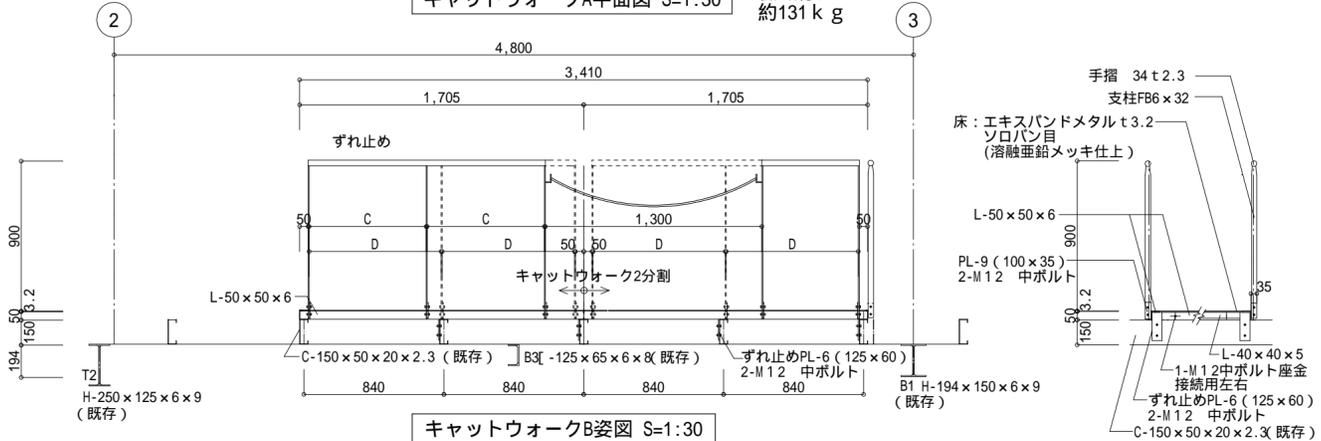


キャットウォークA姿図 S=1:30

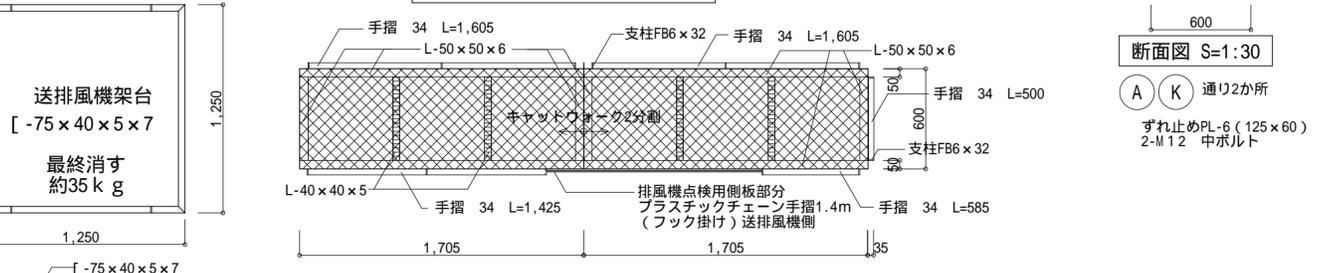


キャットウォークA平面図 S=1:30

最終消す 約131kg

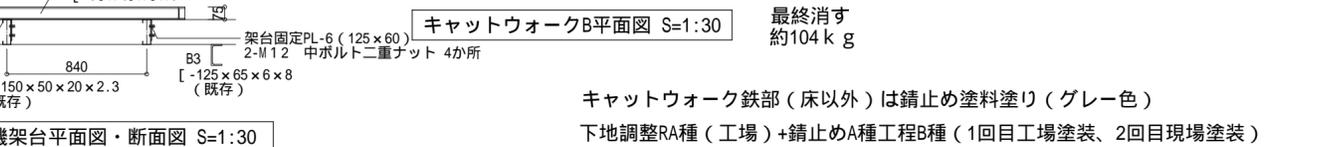


キャットウォークB姿図 S=1:30



キャットウォークB平面図 S=1:30

最終消す 約104kg

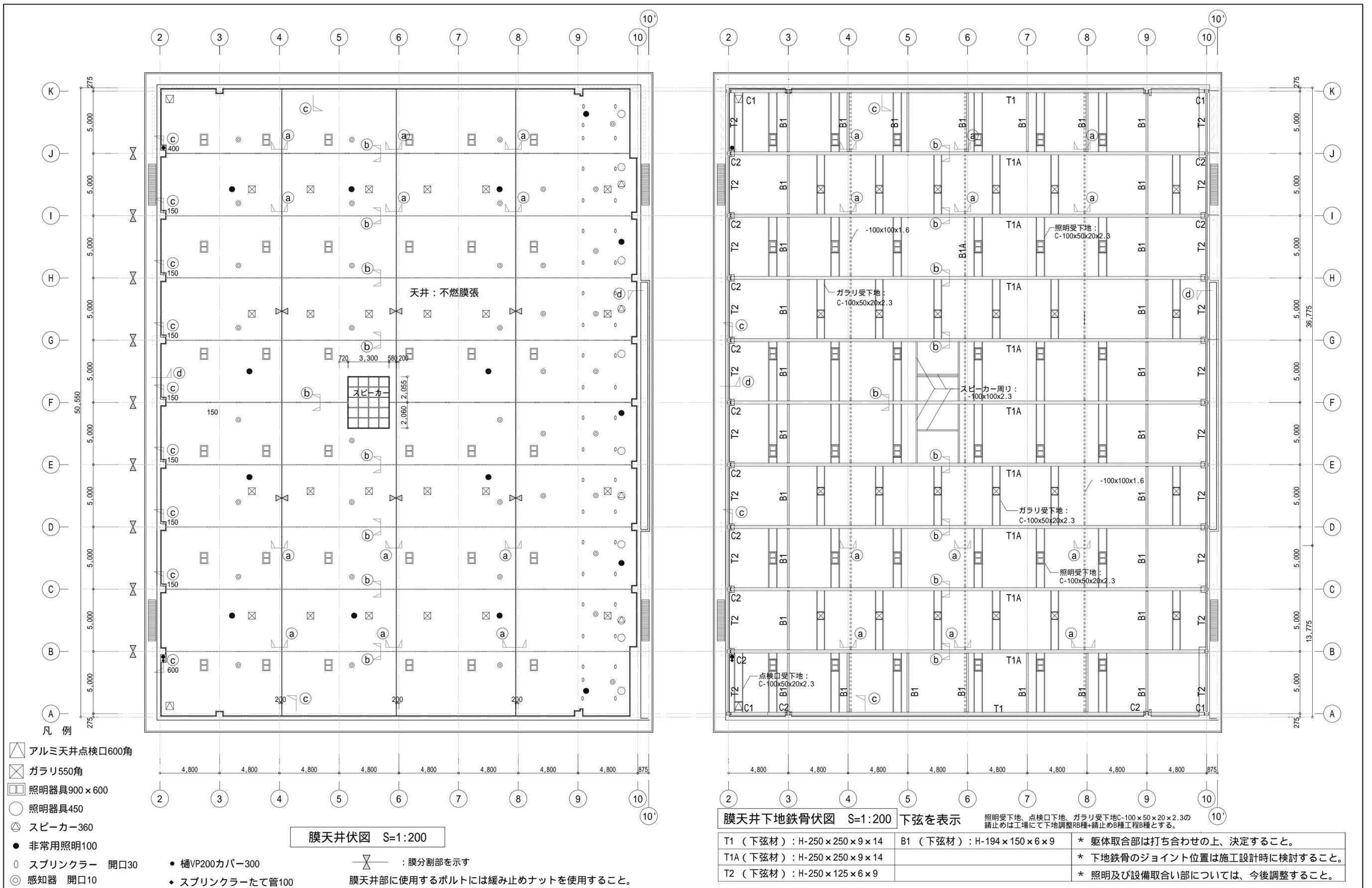


送排風機架台平面図・断面図 S=1:30

T1 (下弦材) : H-250×250×9×14	B1 (下弦材) : H-194×150×6×9	鉄骨はSS400、SSC400 JIS G3101-1995
T1A (下弦材) : H-250×250×9×14		ボルトはJIS B1180
T2 (下弦材) : H-250×125×6×9		エキスパンドメタルはJIS G3351

キャットウォーク鉄部(床以外)は錆止め塗料塗り(グレー色)
下地調整RA種(工場)+錆止めA種工程B種(1回目工場塗装、2回目現場塗装)

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	大体育室キャットウォーク・排風機架台詳細図	図番	A-13	縮尺	1:30、1:200(A2)	作図	令和4年4月	日	



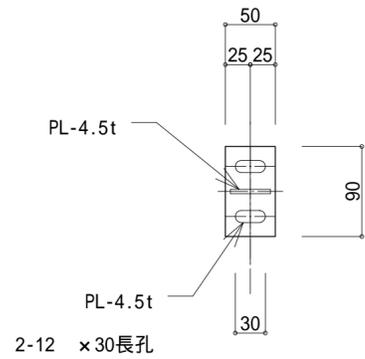
- 凡例
- ◻ アルミ天井点検口600角
 - ◻ ガラリ550角
 - ◻ 照明器具900×600
 - 照明器具450
 - △ スピーカー360
 - 非常用照明100
 - スプリンクラー 開口30
 - ◎ 感知器 開口10
 - 樋VP200カバー300
 - ◆ スプリンクラーたて管100
 - ⊗ : 膜分割部を示す

膜天井伏図 S=1:200

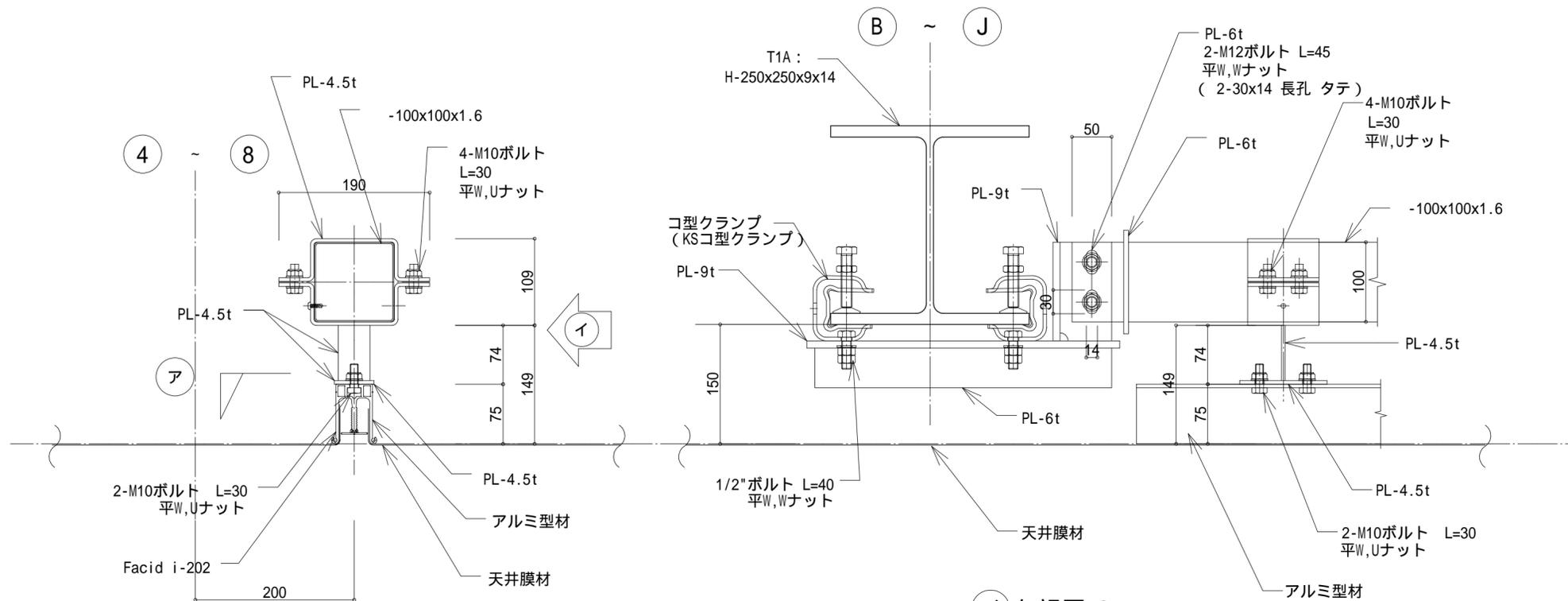
膜天井下地鉄骨伏図 S=1:200 下弦を表示

T1 (下弦材) : H-250×250×9×14	B1 (下弦材) : H-194×150×6×9	* 躯体取合部は打ち合わせの上、決定すること。
T1A (下弦材) : H-250×250×9×14		* 下地鉄骨のジョイント位置は施工設計時に検討すること。
T2 (下弦材) : H-250×125×6×9		* 照明及び設備取合部については、今後調整すること。

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	膜天井 天井伏図・下地鉄骨伏図	図番	A-15	縮尺	1:200(A2)	作図	令和 4年 4月 日		



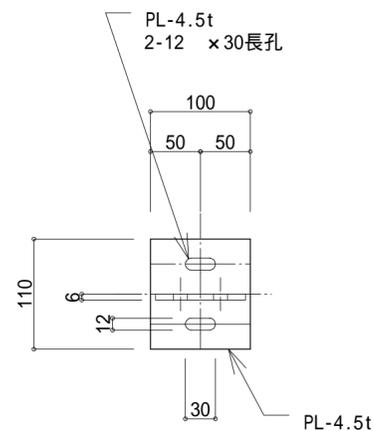
ア 矢視図 S=1:10



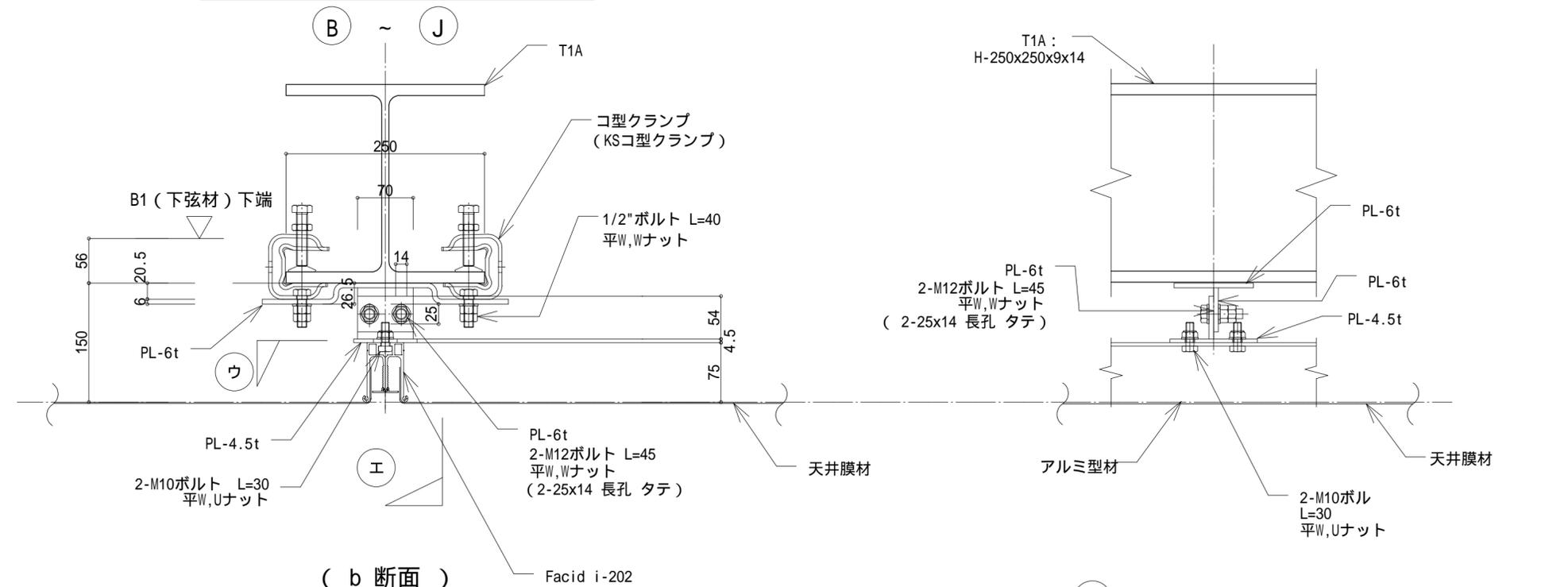
(a 断面)

イ 矢視図 S=1:5

膜定着詳細図 S=1:5



ウ 矢視図 S=1:10

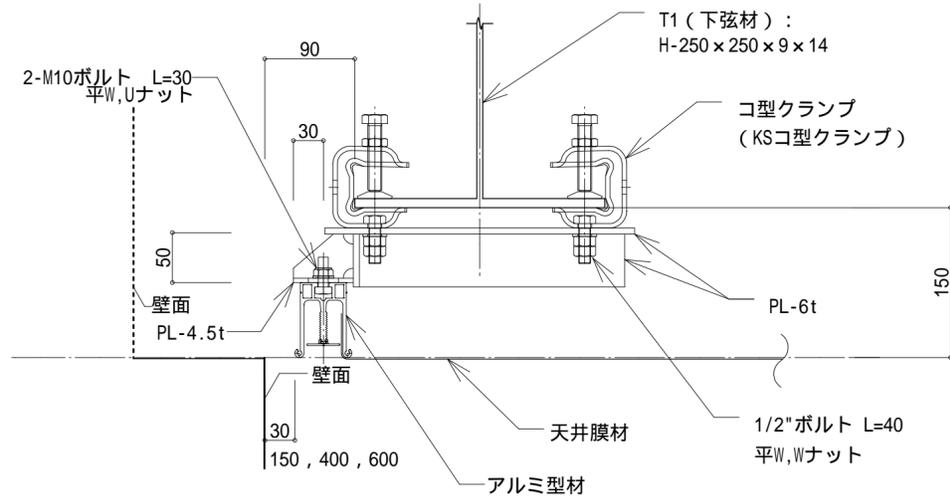


(b 断面)

エ 矢視断面図 S=1:5

膜定着詳細図 S=1:5

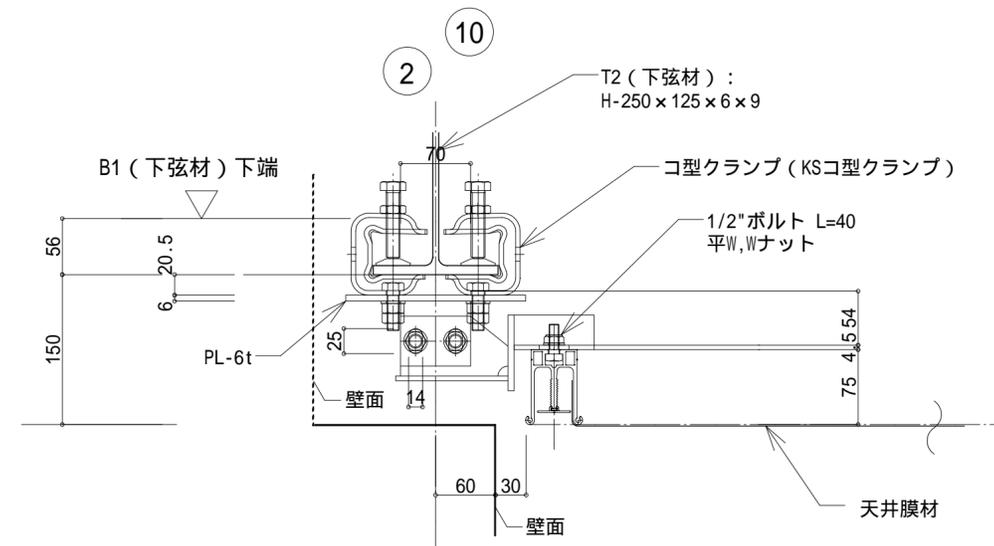
工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	膜天井 納まり詳細図-1	図番	A-16	縮尺	1:5(A2)	作図	令和 4 年 4 月 日		



(c 断面)

膜定着詳細図 S=1:5

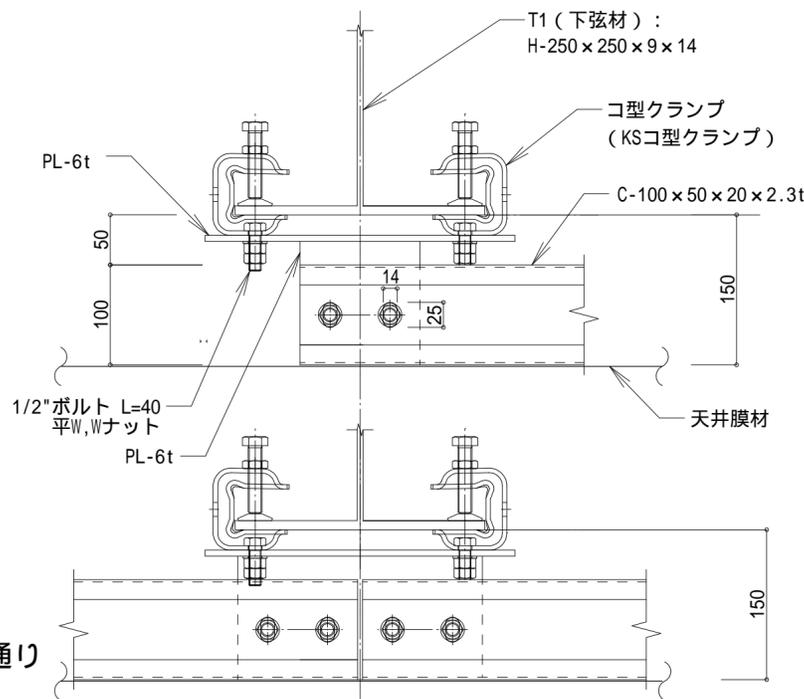
(A , K) 通り



(d 断面)

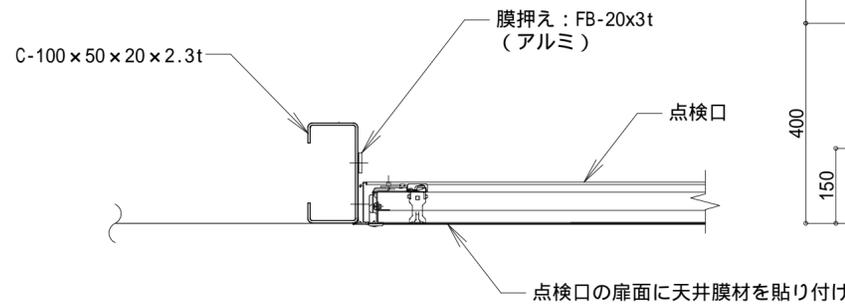
膜定着詳細図 S=1:5

(2 , 10) 通り



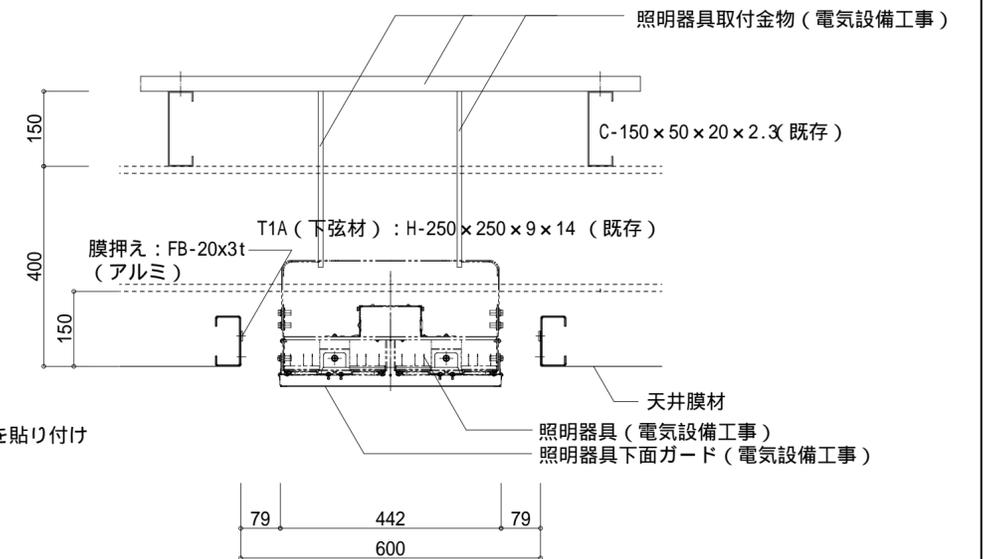
(F) 通り

受下地詳細図 S=1:5



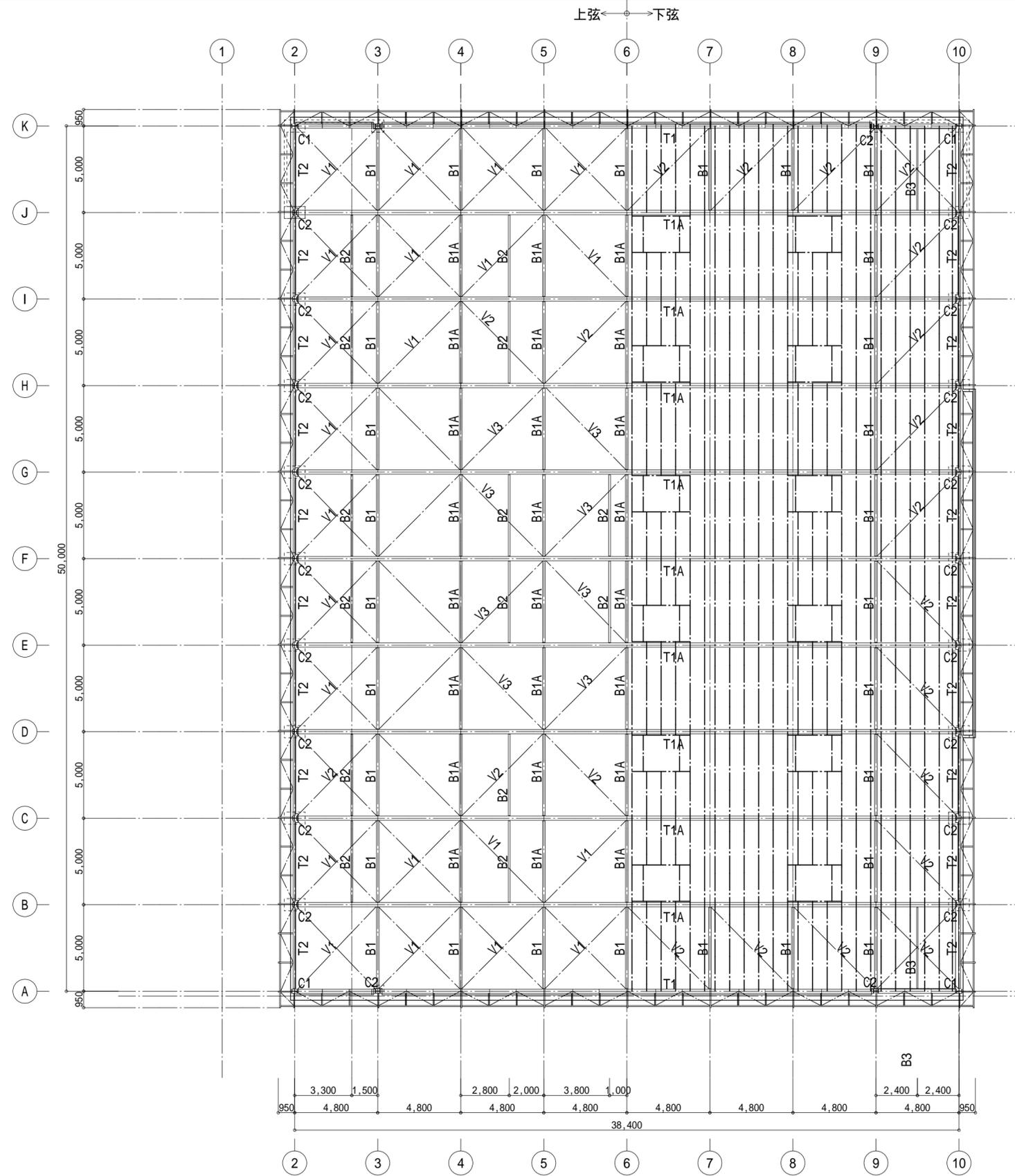
膜定着詳細図 S=1:5

上図は点検口部納まりを現す
ガラリ、照明周りも四周C型鋼に膜押え



照明器具廻り詳細図 S=1:10

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	膜天井 納まり詳細図-2	図番	A-17	縮尺	1:5、1:10(A2)	作図	令和 4 年 4 月 日		

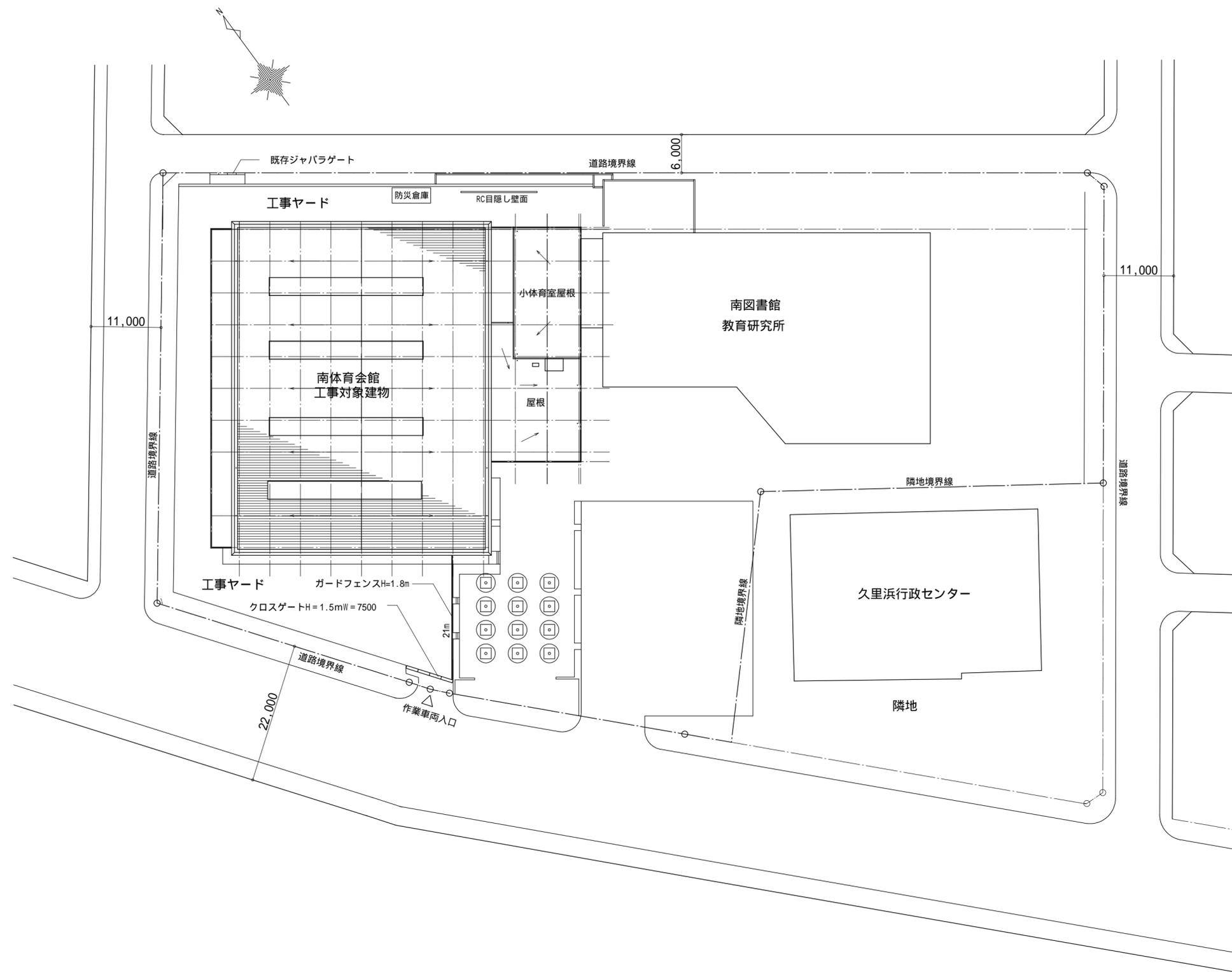


大体育室屋根鉄骨伏図 S=1:200

部材リスト S=1:200

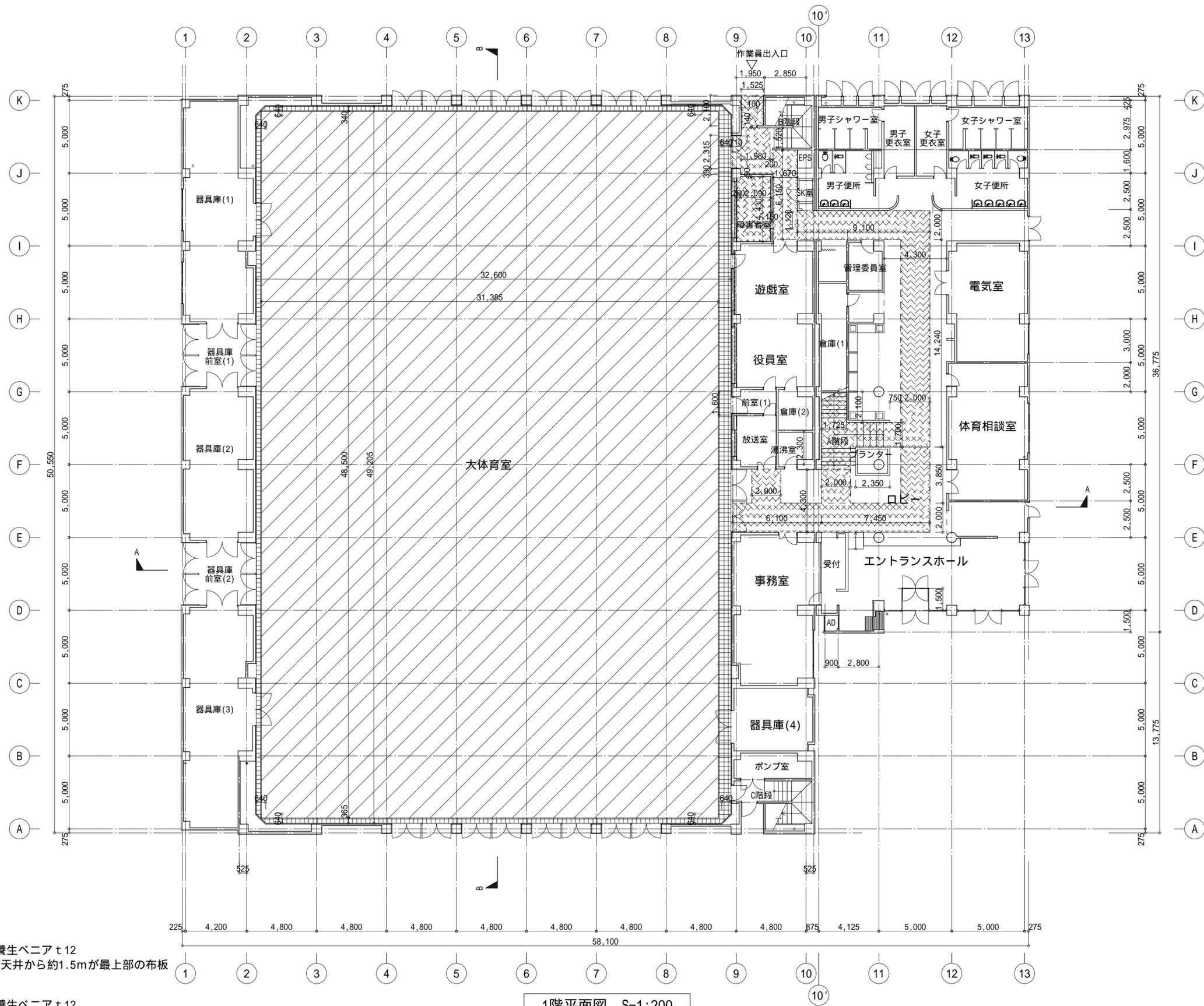
a	H-250×250×9×14	c	H-100×50×5×7
b	H-150×75×5×7	d	-114.3×4.5
e	-101.6×3.5	f	BH-350×250×22×22
g	BH-250×250×16×19		
T1A (B,J通り) (e材) T1B (C~I通り) (f材)			
a	H-250×250×9×14	c	-114.3×6.0
b	-60.5×3.2	d	-101.6×3.5
e	BH-250×250×16×19	f	H-250×250×9×14
T2 B2 B3			
[-100×50×5×7.5		[-125×65×6×8	
a	H-250×125×6×9	c	2LS-65×65×6
b	H-100×50×5×7	GPL-6 HTB 2-M16	
B1		B1A	
a	H-194×150×6×9	a	H-194×150×6×9
b	-60.5×2.3	b	-60.5×2.3
V1	-60.5×3.2 GPL-6 HTB 2-M16		
V2	-60.5×2.3 GPL-6 HTB 2-M16		
V3	-48.6×2.3 GPL-6 HTB 2-M16		
C-150×50×20×2.3			

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	大体育室屋根鉄骨伏図 (既存)	図番	A-18	縮尺	1:200(A2)	作図	令和 4年 4月 日		

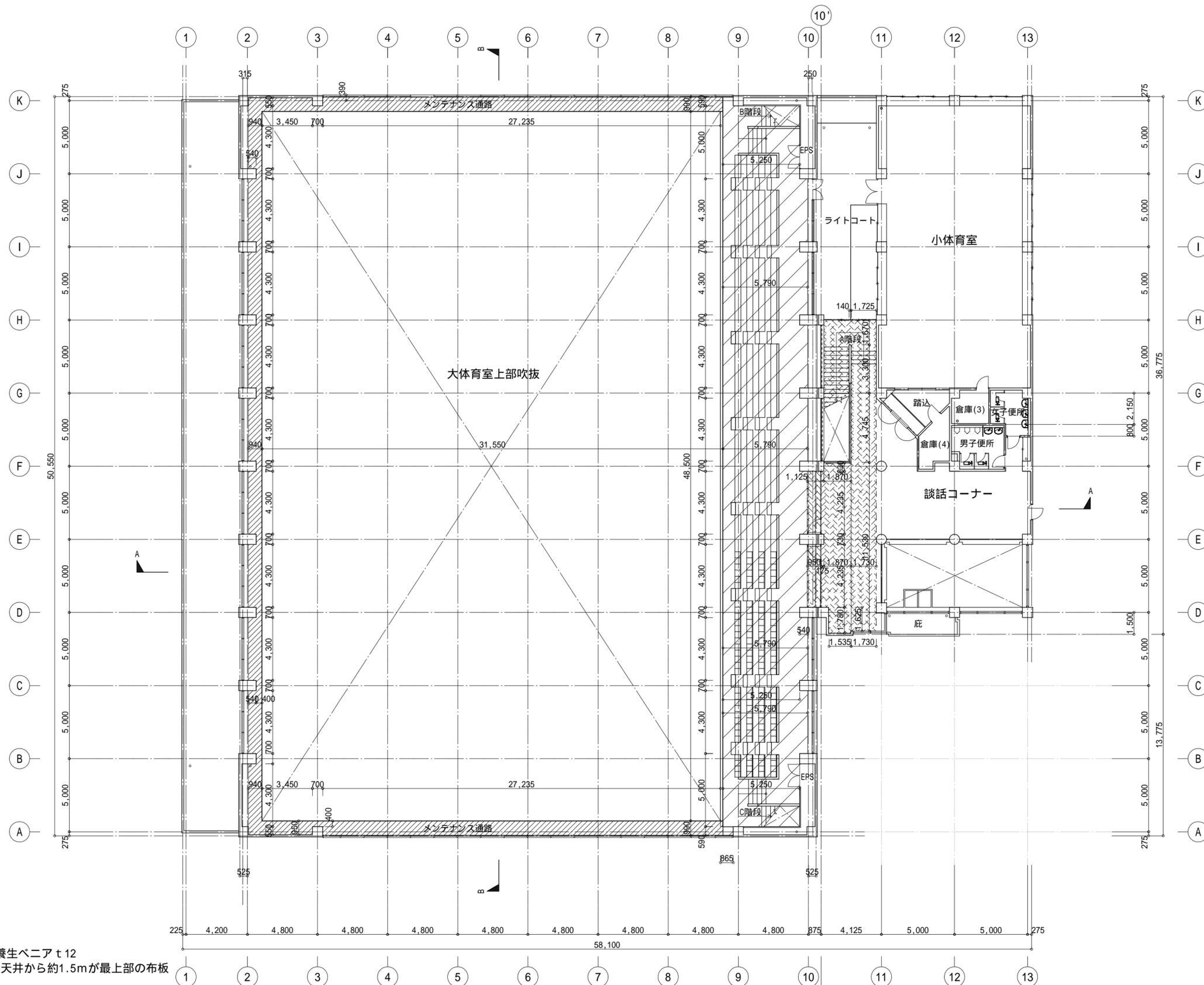


配置図 S=1:500

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格 氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	外部仮設計画図(参考)	図番	A-19	縮尺	1:500(A2)	作図	令和 4年 4月 日		



工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	1階仮設計画図(参考図)	図番	A-20	縮尺	1:200(A2)	作図	令和4年4月	日	



- 床養生
- ブレーシート養生+養生ベニア t12
枠組棚足場 高さは天井から約1.5mが最上部の布板
- ブレーシート養生+養生ベニア t12
ブラケット足場 高さは天井から約1.5mが最上部の布板

2階平面図 S=1:200

工事名	南体育会館大体育室天井改修その他工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	2階仮設計画図(参考図)		図番	A-21	縮尺	1:200(A2)	作図	令和 4年 4月 日			